

NEWS FILE

村井が研修・研究センターを開設

中部部品加工協会（中部協、村井正輝代表理事）の運営会社である村井（名古屋市名東区、村井さやか社長＝写真右）は8月26日、岐阜県郡上市に「ひるがの切削加工研究・研修センター」を開設した。各種研修や切削加工の研究施設として活用する。1日（23時間）の貸し出し料金は平日が7万5000円、金・土曜日が9万5000円。最大14人が宿泊できる。

敷地面積は1117㎡で、センターの延べ床面積は333㎡。約1億5000万円を投じた。中村留精密工業（石川県白山市、中村匠吾社長）の2スピンドル対向型複合旋盤「WT-100」1台と、ブラザー工業の小型マシニングセンター（MC）「SPEEDIO S700X2」1台を導入。来年には建屋をもう1棟増やし、5軸MCや研削盤、協働ロボットなどを導入する予定という。



すでに中部協の会員やその顧客向けに試験運用を始めており、新型ワークを加工する工具構成のトライアルや、インコネルなど難削材の加工試験で活用している。